

# 安曇川河畔林の竹林の保全を エコツアーにした取り組み

## 1 社会資本の概要

安曇川は京都府境の百井峠付近に源を発し、針畑川、麻生川、北川等の支川を合わせ、琵琶湖に注ぐ、県内第3位の流域面積を持つ一級河川です。上流部は、キャンプ場をはじめとした野外レクリエーション施設が見られ、下流部にはグラウンド等が整備さ



高島市位置図



新たな体験会場を生み出した

れており、高水敷等の活用が図られています。中流から上流部ではアユ釣り、支流および上流部の渓流ではイワナやアマゴの釣り場として知られています。また、沿川の小学校では、河口から上流までの自然環境や流域の暮らしについて、体験学習の場として利用されています。

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

安曇川では江戸時代からはん濫を防ぐために河畔に植えられた竹を使った扇骨（扇子の紙以外の部分）の生産が行われてきましたが、輸入材の増加等から竹林が放置され荒廃が進んでいました。

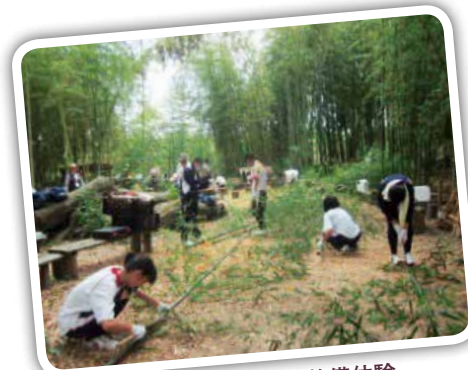
そこで、平成11年に地域交流創出を目的に発足した「湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部」（197名）が平成19年に竹林整備部門を設立し、4,500㎡の荒廃竹

林を川島区から借り受け、竹林整備・自然観察・食育等をエコツアープログラム化した「新竹取物語」を展開しています。

イベントの前には登山道や竹林整備を行い、繰り返し利用することにより保全作業の負担・経費を軽減し、乳幼児も参加できるよう、整備を行っています。また、活動費は補助金に頼ることなく、その参加費から捻出し継続した事業展開を行っています。



荒廃が進んだ竹林の中に入って伐採作業



新竹取物語 竹林整備体験

## 3 地域への成果や波及効果等

地域の宿泊施設と連携した教育旅行を地区内外から受け入れ、環境学習を兼ねた高島市周辺の案内も行うことで、地域ぐるみの取り組みに発展しています。竹林の整備を行うことで、キクザキイチゲやレンプクソウなどの山野草が育ち、カブトムシなどの昆虫が増えるなどの波及効果や、安曇川の維持管理に役立ち、洪水はん濫防止や不法投棄対策として効果も発揮しています。



安曇川で地元の方の家族ぐるみの川遊び



山野草キクザキイチゲの花



### ●受賞者

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部  
代表 阿部 和子

### ●コメント

多くの方々が私達の活動をご理解くださり、スタッフのテンションも急上昇、ありがとうございました。

竹林を拠点に心弾ませるエコツアーを創出・展開し、私達ならではの地域づくりを継続しなければと思っています。

### ●活動内容

竹林再生整備体験をエコツアープログラム化した「新竹取物語」

### ●活動の経緯

平成11年 湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部発足  
平成19年 荒廃した竹林整備後、「新竹取物語」を展開

### 所在地

滋賀県高島市安曇川町川島地内

### 活動主体及び連絡先

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部  
(0740-32-0206)  
※功労者名：篠原 輝夫  
三上 紀顕

### 対象となる社会資本

一級河川安曇川  
※管理者：滋賀県



手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集